

# 江戸の粹 「根付け」 匠の心が宿る象牙の世工術

着物の帯から覗くわずか数センチの小さなかたまりに360度の細工を施し、それを「芸術品」とまで言わしめる日本人の粹「根付け」。日本で唯一と云ふべき「根付け」は、その細工の巧緻さから「根付の精緻」などと云ふ。

**印籠の紐の先につける小さな彫刻は  
江戸のゆとりから生まれた遊びの心**

根付けの大きさは数センチ。この小さな滑り止めの玉に細工を施したものをお互いに自己慢し、おしゃれを競い合うことで、根付け文化がつくられてきた。しかし、残念であるが、すばらしい古根付けのほとんどは、海外に流出してしまっている。なかには、オーナーで、2000万円、3000万円といふ高値をつけて売買されたものもあるほどだ。着物から洋服へと服装が変化した現在、日本人の生活必需品ではなくなったが、携帯電話やキーホルダーとして、粹でいなせ

ツブには10セント前後の本格的な現代の根付けも登場している。

「職人の仕事は教わるのではなく、見て覚えるのですから、どんな仕事に就くとしても、職人となれば大変です！」まずは、道具を作ることから始まる。刃先の微妙な角度の違い、刃の堅さ、すべてが非常に重要な要素になる。

11年やつてそこからだよ

## 象牙の中に形が宿つているかのように動く手

広晴親方は、象牙に下書きをせず、彫刻刀の刃をあて、いきなり削り始める。そのスピードは想像をはるかに超えるもので、まるで象牙の中に造るもののかたちが宿ついているかのようだ。

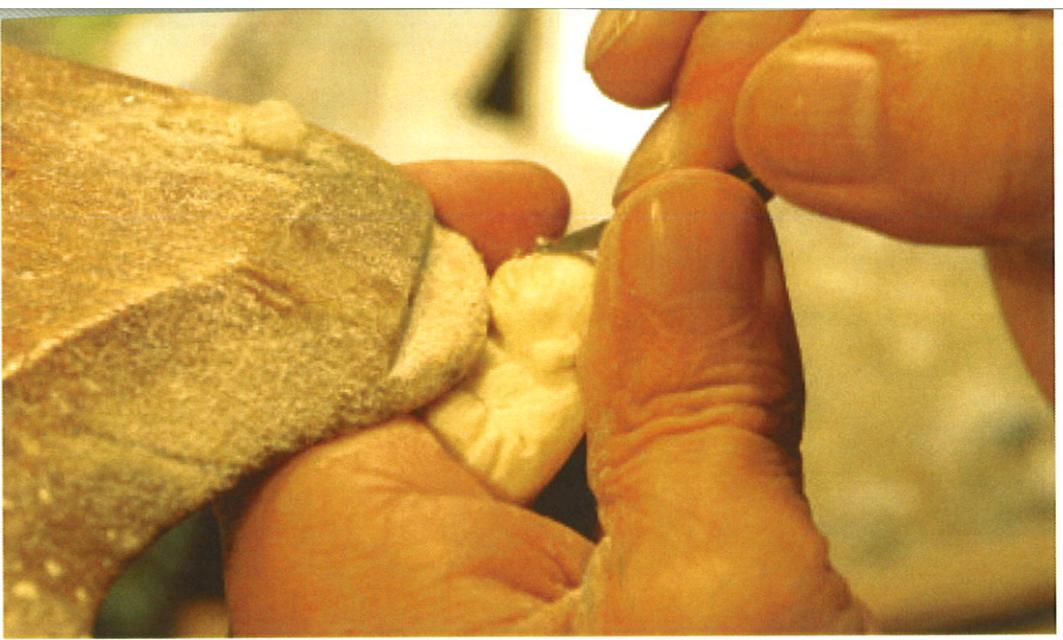
その職人技は、父親である先代の広晴親方



●桜井広一（さくらい・こういち）  
生年月日：昭和5年1月26日 銘：広晴  
18歳で、父である先代・広晴に弟子入り。  
象牙彫刻、アート58年。東京都認定の江戸  
伝統工芸士で、象牙業界では第一号。  
昭和38年より十数年にわたり、東京象牙協  
同組合の理事を務め、昭和40年から60  
年まで後継者育成に専念し、数名の象  
牙彫刻師を育成する。「面白いものにつく  
って、驚かせてやろう」という遊び心を  
もつて、江戸の伝統を極める人。

●日本職人名工会との取り組み

人の技文化の活性化を目的とする非営利団体。日本製造業はすべて職人文化から発展し、大きな繁栄をたらしてきましたが、時代が変わり、技術革新によって生活商品や手作り物は、ほとんどが成型物にとどめられてしまいました。このような時代に技を磨き、を諦めることもなく「もの」づくりに専念する職人がいます。「日本職人名工会」と「STELLAR C.K.M」のづくり研究所は連携し、職人の技文化をめ、日本の伝統を未来に残す活動を推進しています。



▲馬台と呼ばれる作業台で、象牙を彫る。彫刻刀は左に刃がついているので、外に向かって押し出すように使う。

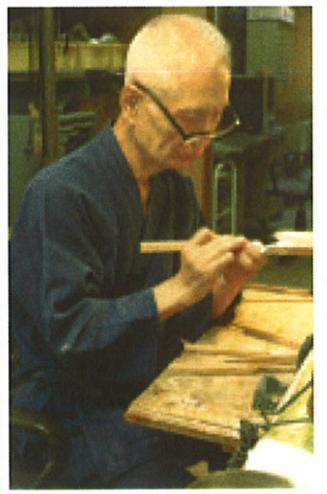
「貴重な象牙を、目印一つ付けず、いきなり彫り始め、見事に完成させる天才肌といわれた人でした。仕事に對して厳しい人でした」その技術と作品は芸術とまで言われる広晴親方であるが、あくまで象牙彫刻家としての誇りを頑固に持ち続ける職人だ。

根付けは海外でも高く評価されている。広晴親方の弟も高円宮殿下とイギリスに渡り、大英博物館で根付けの製作実演を行つたことがあるほどだ。国内外から日本の芸術品として高く評価を受けている根付けであるが、広晴親方はさりげなく言う。

「私は、長い訓練によって身につけた技で商品をつくっているだけ。粹なものをつくり、お客様が喜んでくれることが嬉しいわけで芸術品をつくっている意識はありません」

お客様が望めば、何百個でも同じものをつくる。下書きもせず、象牙に刃をいれ、同じものをつくるその技。自他ともに認める唯一の根付け「職人」と言われるのも納得である。「技がすばらしいなと思うと、まずは、道具を見せてもららうんですよ。このあいだ、若い指物職人の方の道具を見せてもらつたら、すばらしかった。」

根付け彫刻の世界も「職人としての自覚」がなくなつたと言われている今日、誇りを持つて職人として生き、日々研鑽を積む広晴親方の話を伺うだけで、背筋が伸びるようだ。『粹に生きた日本人』の心と職人文化を継承している広晴親方。その根付けには、日本の魂が宿つているに違いない。



▶兄弟3人ととも根付職人。弟さんは高円宮殿下と渡英、大英博物館で根付の実演を行つたこともある。



桜井広晴親方根付

詫び

<p>道具の学校 130 号(2006 年 10 月 14 日発行)83 頁に掲載の記事、冒險家永瀬忠志様のリヤカーを作成したのは山田光男様であるとの記述は誤りで、山田光男様が制作しているのは別の冒險家の方のリヤカーでした。掲載記事制作上の不手際により、山田光男様、永瀬忠志様をはじめたくさんの方々にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。</p>	<p><b>商品番号 PP0132-389EG</b></p> <p><b>①大黒様 ②恵比寿様 一括価格 <b>33,600</b> 円(税込) 郵振分割価格 35,500円(税込)(毎月5,915円×6回)</b></p> <p><b>③龍 ④ふくろう ⑤豚 一括価格 <b>21,000</b> 円(税込) 郵振分割価格 22,200円(税込)(毎月5,550円×4回)</b></p> <p><b>17,640</b> 円(税込)</p>
--	---

- サイズ(約) / ①幅22×奥行き18×高さ20mm、  
②幅22×奥行き17×高さ21mm、③幅19×奥行き14×高さ18mm、④幅17×奥行き15×高さ26mm、  
⑤幅17×奥行き22×高さ16mm、⑥幅16×奥行き24×高さ12mm、⑦幅12×奥行き24×高さ16mm、  
ストラップ:長さ10cm⑧材質/象革⑨重さ(約)  
⑩14g⑪24g、⑫0.045kg⑬10g、⑭0.07kg⑮日本製※タグ  
番号をご指定ください。※お届けまで1ヶ月ほどかかる場合がございます。※手作り品のため、サイ  
ズや大きさは多少異なる場合がございます。※商  
品の特性上、返品はお受けできません。

商品番号 PP0132-389EG

上图样 来从本做 一括价格

01 大黒様 02 恵比寿様 一括価格

郵便局分割

03 龍 04 ふくろう 05 豚 一括価格

## 郵便分割印

06 かえる 07 亥 17,640円(税)